

平成20年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年12月3日(水)～4日(木)に東京ガーデンパレスにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者46名、委託関係者43名ほか、計127名の参集を得て、除草剤の作用性試験16薬剤、適用性試験30

薬剤、及び生育調節剤作用性試験2剤、適用性試験3剤について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成20年度 畑作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A.除草剤		注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの								
薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
AC-263液 イマザモックスアンモニウム塩 0.85% [BASFアグロ]	大豆	—								(作用性)
	小豆	実・ 継	一年生広 葉雑草	茎葉 (畦間)	生育期 雑草2葉期まで	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・播種後土壌処理剤との体系で使用する ・作物に飛散しないように散布する	・年次変動の確認
AH-01液 グルホシネートPナトリウム塩 11.5% [明治製菓、北興化学工業]	大豆	実・ 継	一年生雑 草	茎葉	耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	東北以南		・畦間処理での年次変動の確認(北海道) ・畦間・株間処理での効果、薬害の確認(北海道)
				茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期			全域	・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する	
				茎葉 (畦間・株間)	生育期(本葉5葉期以降) 雑草生育期 (草丈15cm以下)			東北以南	・専用ノズルを使用する ・噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布する	
	小豆	実・ 継 (従来どおり)	一年生雑 草	茎葉	耕起または播種8日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	東北以南	・播種前処理での薬害の確認 ・畦間処理での効果、薬害の確認(北海道)	
				茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期				・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する	
	菜豆	実・ 継 (従来どおり)	一年生雑 草	茎葉	耕起または播種7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	東北以南	・播種前処理での薬害の確認 ・畦間処理での効果、薬害の確認(北海道)	
茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期			・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する						
とうもろこし (食用)	継								・耕起または播種前処理での効果、薬害の確認(東北以南)	

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
AH-01液	ばれいしょ	実・継	一年生雑草	茎葉	植付後萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	100～200mL ＜水量100～150L＞	全土壌	全域		・畦間処理での効果、 薬害の確認(北海道)
				茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期	300～500mL ＜水量100～150L＞	全土壌	東北以南	・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	
	こんにゃく	実・継 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期	300～500mL ＜水量100～150L＞	全土壌	東北以南	・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	・畦間処理での年次 変動の確認 ・植付後萌芽前処理 での効果、薬害の確 認
	そば	実・継	一年生雑草、多年生 雑草	茎葉	耕起または 播種7日前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	300～500mL ＜水量100～150L＞	全土壌	全域		・播種前処理での薬 害の確認
	あわ	継								・効果、薬害の確認
AK-01液 グリホサートイソプロピル アミン塩 41% [TAC普及会]	大豆	実・継	一年生雑草	茎葉	耕起または 播種10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	250～500mL ＜水量25～50L＞	全土壌	東北以南	・専用ノズルを使用する	・播種前処理での薬 害の確認
					播種後出芽 前 雑草生育期 (草丈30cm以下)				・専用ノズルを使用する。	
				茎葉 (畦間)	生育期 雑草生育期				・専用ノズルを使用する ・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	
	小豆	実・継	一年生雑草	茎葉	耕起または 播種10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	250～500mL ＜水量25～50L＞	全土壌	東北以南	・専用ノズルを使用する	・播種前処理での薬 害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
AL-513乳 アラクロール 30%、 リニユロン 12% [日産化学工業、 デュボン]	大豆	実 (従来どおり)	一年生雑草	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	400～600mL ＜水量100L＞	全土壌 (砂土を除く)	全域		
	菜豆	実・継	一年生雑草	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	400～600mL ＜水量100L＞	全土壌 (砂土を除く)	全域	・初生葉に黄化、縮葉、褐 変等がみられる場合がある	・年次変動の確認(東 北以南)
	とうもろこし (飼料用および食用)	実・継	一年生雑草	土壌	播種後出芽 前、 雑草発生前	400～600mL ＜水量100L＞	全土壌 (砂土を除く)	全域		・年次変動の確認(東 北以南)
	ばれいしょ	実・継	一年生雑草	土壌	植付後萌芽 前、 雑草発生前	400～600mL ＜水量100L＞	全土壌 (砂土を除く)	全域	・高薬量では縮葉等がみ られる場合がある	・年次変動の確認(東 北以南)
AL-513(改)細粒 アラクロール 4%、 リニユロン 1.04% [日産化学工業、 デュボン]	大豆	一								(作用性)

A.除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
ALH-0731乳 新規化合物 720g/L [アリスタ ライフサイエ ンス]	大豆	継								・効果、葉害の確認
	菜豆	継								・効果、葉害の確認
	とうもろこし (飼料用)	継								・効果、葉害の確認
	とうもろこし (食用)	継								・効果、葉害の確認
	ばれいしょ てんさい (移植)	継 一								・効果、葉害の確認 (作用性)
ALH-0831(旧S- 604)乳 クレシム 23% [アリスタ ライフサイエ ンス]	ばれいしょ	継								・効果、葉害の確認
ANK-553細粒 ヘンデイメタリン 2% [BASFアグロ]	さとうきび	継								・効果、葉害の確認
BAH-0805乳 シメナストP 212.5g/L、 ヘンデイメタリン 250g/L [BASFアグロ]	とうもろこし (飼料用)	継								・効果、葉害の確認
	とうもろこし (食用)	継								・効果、葉害の確認
BAS-656乳 シメナストP 64% [BASFアグロ]	菜豆	一								(作用性)
	とうもろこし (飼料用、食 用)	実・ 継 (従来ど おり)	一年生雑 草(アカサ科、 アブラナ科、タ デ科を除く)	土壌	播種後出芽 前、雑草発生 前	75～ 120mL<水 量100L>	全土壌 (砂土を除 く)	東北以南		・効果、葉害の確認 (飼料用、食用)
	てんさい (直播)	継								・効果、葉害の確認
	そば	継								・効果、葉害の確認
CG-119 α 乳 S-メトラクロール 82% [シンジェンタ ジャパ ン]	てんさい(直 播)	継								・効果、葉害の確認 ・効果、葉害の確認
DPX-16顆粒水和 チフェンスルフロンメチル 75% [デュポン]	とうもろこし (飼料用)	継								・効果、葉害の確認
	春播小麦	実	一年生広 葉雑草	茎葉	春播小麦生 育期(3～5葉 期)、 雑草生育期 (3～5葉期)	3～5g <水量 100L>	全土壌	北海道	・イネ科雑草に有効な土壌 処理剤との体系で使用する	
HCW-2017アブ ル DCMU 50% [保土谷化学、 北興化学]	ばれいしょ	継								・効果、葉害の確認
Hoe-866液 グルホシネート 18.5% [バイエル クロップサイ エンス]	大豆	実・ 継 (従来ど おり)	一年生雑 草	茎葉 (畦間)	大豆生育期 雑草生育期	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	全域	・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	・畦間・株間処理で の効果、葉害の確認
	小豆	継								・葉害の確認(北海 道)
	菜豆	継								・葉害の確認(北海 道)
	そば	実・ 継	一年生雑 草	茎葉	耕起または 播種前 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	300～ 500mL <水量100 ～150L>	全土壌	東北以南		・播種直前処理での 葉害について

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用規準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
HPW-102水和 DCMU 80% [保土谷UPL]	さとうきび (株出)	継								・効果、被害の確認
	さとうきび (春植)	継								・効果、被害の確認
	さとうきび (夏植)	継								・効果、被害の確認
MAH-0801顆粒 水和 既知A 6.5% 既知B 6.5% メタシロン 28% [マクデム・アガン・ ジャパン]	てんさい(移 植)	—								(作用性)
NC-3607ロアフル キサノホップエチル 7% [日産化学工業]	大豆	実・ 継	一年生イ ネ科雑草(スズ メノカタビラを 除く)	茎葉	大豆生育期、 イネ科雑草 3～8葉期 大豆生育期、 イネ科雑草 8～10葉期	200～300 mL ＜水量 100L＞	全土壌	全域 東北以南	・体系処理：広葉雑草対象 の既登録土壌処理剤を使用 する。	・イネ科雑草6～8葉期 処理での年次変動の 確認
	小豆	実・ 継	一年生イ ネ科雑草(スズ メノカタビラを 除く)	茎葉	小豆生育期、 イネ科雑草 3～6葉期 小豆生育期、 イネ科雑草 6～8葉期 小豆生育期、 イネ科雑草 3～8葉期	200～250 mL ＜水量 100L＞ 200～ 300mL ＜水量 100L＞	全土壌	北海道 東北以南	・体系処理：広葉雑草対象 の既登録土壌処理剤を使 用する。	・年次変動の確認(東 北以南) ・イネ科雑草6～8葉期 処理での効果、被害 の確認(東北以南)
	かんしょ	実・ 継	一年生イ ネ科雑草(スズ メノカタビラを 除く)	茎葉	大豆生育期、 イネ科雑草 3～8葉期	200～ 300mL ＜水量 100L＞	全土壌	全域	・体系処理：広葉雑草対象 の既登録土壌処理剤を使 用する。	・イネ科雑草6～8葉期 処理での年次変動の 確認
	小豆	実・ 継	一年生雑 草	茎葉	耕起または 播種前 雑 草生育期(草 丈30cm以 下) 茎葉 (畦間) 小豆生育期、 雑草生育期	200～ 500mL ＜水量25～ 100L＞	全土壌	東北以南	・少水量散布(25～50L)の 場合は専用ノズルを使用す る ・少水量散布(25～50L)の 場合は専用ノズルを使用す る ・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	・播種後出芽前処理 での効果、被害の確認 ・低薬量または少水 量散布での年次変 動の確認(畦間茎葉 処理)
NC-622液 クワサートカウム塩 48% [日産化学工業]	菜豆	継								・耕起または播種前、 畦間茎葉処理での 効果、被害の確認 (東北以南)
	さとうきび	実・ 継	一年生雑 草、多年生 雑草	茎葉 (畦間 スポット)	サトウキビ生 育期(仮茎長 150cm以上)、 雑草生育期	500～ 1000mL ＜水量25～ 100L＞	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の 場合は専用ノズルを使用す る ・作物に飛散しないように 散布する ・雑草の草丈30cm以下で 散布する	・年次変動の確認 ・畦間スポット処理での 年次変動の確認
	そば	実・ 継	一年生雑 草、多年生 雑草(スギナ を除く)	茎葉	耕起または 播種前 雑 草生育期(草 丈30cm以 下)	200～ 500mL ＜水量25～ 100L＞	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の 場合は専用ノズルを使用す る	・播種直前処理での 被害の確認

A.除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
NH-007液 ピラフルフェンエチル 0.16% グリホサートイソプロピル アミン塩 30% [日本農薬]	大豆	継								・効果、葉害の確認
NH-9301液 ピラフルフェンエチル 2.0% [日本農薬]	春播小麦	一								(作用性)
NM-536P乳 シメタナトP 8.5% リニロン 12% [日産化学]	大豆	一								(作用性)
	とうもろこし (飼料用)	一								(作用性)
NP-55乳 ネコシジム 20% [日本曹達]	大豆	実・ 継	一年生イネ 科雑草(スズ メノカビラ除 く)	茎葉	イネ科雑草3 ～5葉期	150～ 200mL ＜水量25～ 150L＞	全土壌	北海道	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・少量散布(25～50L)の 場合は専用ノズルを使用す る	・展着剤加用による 効果について
						150～ 200mL ＜水量100 ～150L＞		東北以南	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・展着剤を加用する	
						イネ科雑草5 ～8葉期		200mL ＜水量 100L＞	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・展着剤を加用する	
		てんさい (育苗期、 ハーバーボッ ト)	一							
NP-61乳 デブプロキシム 10% [日本曹達]	大豆	実・ 継 (従来ど おり)	一年生イネ 科雑草	茎葉	イネ科雑草3 ～5葉期	75～ 100mL ＜水量 100L＞	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理:広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する	・イネ科雑草6～8葉期 処理での効果、葉害 の確認(北海道)
NP-65乳 新規化合物 37.5g/L [日本曹達]	とうもろこし (飼料用)	継								・効果、葉害の確認
NTN-70水和 外リブシン 50% [日本曹達]	ハレイン	実 (従来ど おり)	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	植付直後～ 萌芽期	100～ 140g＜水量 100L＞	全土壌(砂 土を除く)	北海道～ 東北	・採種用は萌芽直前まで	
S-482顆粒水和 フルミオキサジン 50% [住友化学]	菜豆	継								・効果、葉害の確認

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
SL-236(L)乳 フルアジホップブチル 17.5% [石原産業]	大豆	実・ 継	一年生イネ 科雑草(スズメノカタビラ を除く)	茎葉	生育期 イネ 科雑草(3~5 葉期) 生育期 イネ 科雑草(5~8 葉期)	75~ 100mL <水量25~ 100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理: 広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・高温条件では高葉齢のイ ネ科雑草に低葉量で効果 が劣る ・少水量散布(25~50L)の 場合は専用ノズルを使用す る	・少水量(25~50L) 処理での年次変動の 確認
	小豆	実・ 継	一年生イネ 科雑草(スズメノカタビラ を除く)	茎葉	生育期 イネ 科雑草(3~5 葉期)	75~ 100mL <水量25~ 100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理: 広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・少水量散布(25~50L)の 場合は専用ノズルを使用す る	・少水量(25~50L) 処理での年次変動の 確認
	菜豆	実・ 継	一年生イネ 科雑草(スズメノカタビラ を除く)	茎葉	生育期 イネ 科雑草(3~5 葉期)	75~ 100mL <水量25~ 100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・体系処理: 広葉雑草対象 の土壌処理剤を使用する ・少水量散布(25~50L)の 場合は専用ノズルを使用す る	・少水量(25~50L) 処理での年次変動の 確認
	ばれいしょ	継								・効果、被害の確認
SL-9507フロアブル ニコスルフロン 4% [石原産業]	どうもろこし (飼料用)	実・ 継 (従来ど おり)	一年生雑 草全般、シ ハムギ	茎葉	トウモロコシ3~5 葉期、 雑草2~4葉 期	100~ 150mL<水 量100L>	全土壌	全域	・殺虫剤との近接散布はさ ける ・処理後葉が変色(黄白化、 紫帯色など)することがある	・少水量(25~50L) 処理での効果、被害 の確認
SYJ-100乳 プロスルホカルフ 78.4% [シンジエンタ シ・ヤハ ン]	どうもろこし (飼料用お よび食用)	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前 雑草発 生前	400~ 500mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	・低葉量ではイネ科雑草に 効果が劣る場合がある	
UPH-002フロアブル フェンメチファム 16% [ユービー・エルシ・ヤハ ン]	テンサイ(直 播)	—								(作用性)
	テンサイ(移 植)	—								(作用性)

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用基準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
ZK-122液 グリホサートカリウム塩 44.7% [シンジエンタ ジャパン]	大豆	実・継	一年生雑草	茎葉	耕起または播種7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～50L>	全土壌	全域 (北海道を除く)	・専用ノズルを使用する	・雑草生育期塗布処理での効果、薬害の確認 ・耕起または播種前処理でのコウキヤガラに対する効果の確認
			播種後出芽前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	・大豆の発芽開始後は、薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する。 ・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。					
		茎葉 (畦間)	大豆生育期、 雑草生育期	250～500mL <水量25～50L>	・作物に飛散しないように散布する ・専用ノズルを使用する ・雑草の草丈30cm以下で使用する					
	小豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	実	一年生雑草	茎葉 (畦間)	菜豆生育期、 雑草生育期	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	東北以南	・作物に飛散しないように散布する ・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する ・雑草の草丈30cm以下で使用する	
	とうもろこし (飼料用)	実・継	雑草全般 (スキヤを除く)	茎葉	播種後出芽前 雑草生育期(草丈30cm以下)	200～500mL <水量25～100L>	全土壌	東北以南	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する	・水量100L処理での年次変動の確認
						200～400mL <水量50L>		北海道		
	ばれいしょ	実・継 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉	耕起または植付前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	東北以南	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。	・植付前処理での薬害について ・植付後萌芽前処理での効果、薬害の確認
					植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～50L>		北海道		
	さとうきび	実・継	一年生雑草	茎葉	耕起または植付前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。	・多年生雑草への効果の確認 ・畦間スポット処理での年次変動の確認 ・植付前処理での薬害について
茎葉 (畦間スポット)				さとうきび生育期(仮茎長150cm以上)、 雑草生育期	500mL <水量25～100L>	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する				
陸稲	実 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉	耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。		
そば	実 (従来どおり)	一年生雑草、 多年生雑草(スキヤを除く)	茎葉	耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。		
あわ	実	一年生雑草	茎葉	耕起または播種前 雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL <水量25～100L>	全土壌	全域	・少水量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する。		

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
トリフルラン乳 トリフルラン 44.5% [ダウ・ケミカル日本]	<u>かんしょ</u>	実	一年生雑草(キク科、アブラナ科、カヤツリグサ科、ソウゲイを除く)	土壌(畦間)	中耕培土後雑草発生前	200～300mL <水量100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・作物に飛散しないように散布する	
トリフルラン粒 トリフルラン 2.5% [ダウ・ケミカル日本]	移植大豆(枝豆)	実・継 (従来どおり)	一年生雑草(キク科、アブラナ科、カヤツリグサ科、ソウゲイを除く)	土壌(畦間)	中耕培土後雑草発生前	4～6kg	全土壌(砂土を除く)	全域		・中耕培土後の、畦間・株間処理での効果、薬害の確認
リニオン水和 リニオン 50% [デュポン]	<u>大豆</u>	実・継	一年生広葉雑草	茎葉兼土壌(畦間・株間)	生育期(本葉3葉期以降)雑草生育期(草丈15cm以下)	100～200g <水量100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・専用ノズルを使用する。 ・噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布する	・効果、薬害の確認 ・北海道での年次変動の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
AKD-8182顆粒水和 マレイン酸ビドランシカ リウム塩 60% [アグロカネショウ]	<u>ばれいしょ</u> <u>てんさい</u>	一 一								(作用性) (作用性)
F-8426EO カルフェントラゾンエチル 6.4% [石原産業]	大豆	一	茎葉枯凋 促進効果	茎葉	開花開始30日以降(茎葉繁茂期) (2回処理)	200mL→150～200mL <水量100L>	全土壌	北海道		(作用性)
		実・継			茎葉黄変始期～黄変期	150～300mL <水量25～100L>		全域		・茎葉繁茂期処理での効果、薬害の確認(東北以南) ・茎葉黄変期処理での年次変動の確認(東北以南)
エテホン液 エテホン 10% [2,4-D協議会]	春播小麦	実・継 (従来どおり)	節間伸長抑制による倒伏軽減	茎葉	出穂始期	100～200mL <水量25～100L>	全土壌	全域	・少水量散布の場合は専用ノズルを使用する	・止薬期処理での効果、薬害の確認